

施策No.	政策名	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり	主管課	社会福祉課	主管課長名	尾見 敦子
1-4	施策名	地域福祉の推進	関係課	児童福祉課、健康推進課、高齢福祉課、介護保険課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
	市民	①桜川市人口	見込値	人		41,278	41,008	40,738	40,467	40,197
実績値						41,278	40,483			
見込値										
					実績値					
見込値										
						実績値				
施策の意図		成果指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
地域で互いに支えあう意識が高まり、積極的に福祉活動に参加している。		①地域福祉活動を行っている市民の割合	%		目標値	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
					実績値	22.1	22.4			
		②高齢者見守りネットワーク事業所登録件数	件		目標値	100	110	120	130	140
					実績値	86	86			
		③社会福祉協議会にボランティア登録をしている人の数	人		目標値	759	759	759	759	759
	実績値				576	658				
成果指標設定の考え方	○地域で支え合いの意識を高め、福祉活動を実践することによって、アンケートによる①地域福祉活動を行っている市民の割合、②高齢者見守りネットワーク事業所登録件数③社会福祉協議会にボランティア登録している人数									
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ○①地域福祉活動を行っている市民の割合は、市民アンケート「継続的に行う」、「たまに行っている」より求める。②高齢者見守りネットワーク事業所登録件数は、高齢福祉課で管理する高齢者見守りネットワーク事業所登録数より求める。③社会福祉協議会にボランティア登録をしている人の数は、社会福祉協議会にボランティア保険に加入するために登録をしている人の数より求める。									

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	○地域福祉活動を行っている市民の割合(「継続して行っている」「たまに行っている」)は、前年度22.1%であり、平成30年度については22.4%と横ばい状況である。「あまり行っていない」「行ったことはない」と回答した市民の割合は、平成29年度は76.2%、平成30年度は75.9%と減少している。 ○高齢者見守りネットワーク事業所登録件数は、平成29年度86件、平成30年度86件と横ばい状況である。 ○社会福祉協議会にボランティア登録をしている人の数は、平成29年度は576人、平成30年度は658人と増加している。		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値のすべてを下回った	
背景・要因	○地域福祉活動を行っている市民の割合は、30年度は目標値28.5%に対して実績値22.4%と下回った。 ○高齢者見守りネットワーク事業所登録件数は、30年度は目標値110件に対して実績値86件と下回った。 ○社会福祉協議会にボランティア登録をしている人の数は、30年度は目標値759人に対して実績値658人と下回った。		

3. 施策の成果実績に対する総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対する総括	今後の課題・方針
<p>施策の目指す姿の実現に向けた取り組みの中で、以下の事業が大きく貢献したと考える。</p> <p>民生委員児童委員協議会助成事業においては、地域社会の福祉増進を目的とした活動の中で、高齢者に関すること、障がい者に関すること、子どもに関すること生活困窮者等に関することなどの相談及び支援を行った。岩瀬地区44名・大和地区16名・真壁地区40名計100名による訪問活動、見守り活動をしている。</p> <p>人材育成福祉体験事業については、社会福祉協議会への委託事業であるが、市内の学校を対象にボランティア活動や福祉活動に対する意識向上を図るため、施設訪問・環境美化運動・手話・車いす、アイマスク体験事業等を実施している。</p>	<p>高齢者、障がい者、子ども、生活困窮者等に対する福祉サービスは各担当課で対応しているが、市民が福祉制度を理解、経験する機会が少なく、ボランティアによる共助や支えあいの精神は、地域づくり・まちづくりにも繋がり福祉担当の部署だけでは対応が限界である。</p>